



循環器科会 会長
安里 浩亮 先生

質問 1. 循環器科会会長就任されてからこれまでを振り返ってみてどのような感想をお持ちでしょうか。

古謝景春先生の推薦で会長に就任しました。最初は戸惑いもありましたが、だんだん慣れてきました。県医師会の定期例会（県医学会総会と同時に開催される）、できれば、もっと早く参加したかったのが感想です。

質問 2. 循環器科会における最近の話題などをお聞かせ頂ければと思います。また今後の展望、課題などについてどのようにお考えでしょうか。

iPS 細胞の心臓への応用が話題となっていますがまだまだ先の事となるでしょう。一方、冠動脈インターベンションが新しい drug eluting stent の導入によりホットな話題が多いです。

質問 3. 勉強会・講演会等を活発に開催されておりますが、会の運営にご苦労あればお聞かせ下さい。また会の構成、会員数を教えてくださいませんか。

沖縄ハートの名づけ親は鈴木先生です。沖縄ハートは昭和 52 年 7 月に内科・外科・小児科との合同で発足しました。今は他界された古謝景春先生を始め当時の沖縄を代表するメンバーで構成されていました。古謝先生の引っ張って

いくタイプに助けられて沖縄ハートで苦労したことは覚えがないです。翌年から、小生は参加させてもらいました。現在の会員数は 106 名です。年々増える傾向にあります。ちなみに沖縄ハートは一度も休んだことはないです。

質問 4. 県医師会に対するご要望がございましたらお聞かせ下さい。

特にありませんが、医学会総会で研修医の参加するコンペティションは今後も続けてほしいです。

質問 5. 大変ご多忙の身であります、日ごろの健康法、ご趣味、座右の銘がございましたらお聞かせ下さい。

以前はゴルフをやっていましたが、100 叩きをするようになり今はやっていません。座右の銘と言うよりは目標と言ったほうが良いかもしれませんが「目の前の患者様を救いたい」という思いで循環器の救急医療に携わって一生懸命頑張ってまいりました。

この度はお忙しい中、ご回答頂きまして、誠に有難うございました。

インタビューアー：広報委員 本竹 秀光